

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-04-03-01
事務事業名	防犯活動啓発事業		備前市青色パトロール実施要領
事業開始年度	平成17年～		
総合計画	大項目	基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	安全で安心して暮らせるまちづくり
	小項目	施策	防犯意識の高揚
	問合せ先	担当課(室)	市民課
	職・氏名	生活安全係長 初治 慎一	
	電話	0869-64-1876	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	幼児から高齢者まですべての市民
目的(何のために)	安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、地域社会の犯罪抑止機能の向上を図る。
行政活動(どのような方法で)	防犯パトロール、防犯啓発活動、広報びげんやホームページによる犯罪情報の提供をする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市がパトロールを率先することにより、地域で防犯パトロール活動の気運を高め、犯罪抑止機能を向上させる。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	防犯啓発活動実施		回	4	6	7
	防犯パトロール		回	4	11	20
	防犯情報提供		回	26	26	30
	直接事業費		千円	0	107	102
	人件費		千円	1,003	3,488	3,658
	事業費計		千円	1,003	3,595	3,760
	国県支出金		千円			
	受益者負担		千円			
	一般財源		千円	1,003	3,595	3,760
結果指標	必要人員		人	0.12	0.37	0.40
	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	防犯啓発活動実施		説明	犯罪抑止力の強化及び犯罪被害防止のための啓発活動		
	結果指標量	回	4	6	7	
	対前年比	%	-	150.0%	116.7%	
	活動コスト	円	300,900	1,842,060	2,961,050	
	単位当たりコスト	円	75,225	307,010	423,007	
	防犯パトロール		説明	不審者情報による小学校の登下校時にパトロールを実施		
	結果指標量	回	4	11	20	
	対前年比	%	-	275.0%	181.8%	
活動コスト	円	401,200	1,373,386	702,907		
単位当たりコスト	円	100,300	124,853	35,145		

事業の成果			
成果指標名	市が実施する防犯パトロールの強化回数	式又は説明	防犯パトロールが活発な地域以外を支援するため、市としても防犯パトロールの回数を増やす。
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	4.00	11.00	20.00
対前年比		275.00%	181.82%
到達目標値	25.00	到達目標年度	平成23年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
妥当性の評価	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価<A~E> A
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	課題認識
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	犯罪増加等の社会情勢及び市民・関係団体からの要望もあり、犯罪抑止力の強化及び犯罪被害防止のためには、継続した啓発活動は必要な事業である。
	事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A~E> B
	手段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が妥当でない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	地域団体の活動・ボランティア活動と強力連携しながら、計画的に防犯パトロールを強化しながら、犯罪抑止機能の向上とコスト削減を図る。
	職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> B
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	市として防犯パトロールを強化することにより、ボランティア団体等の参画を促し、市内の広報活動を推進する。

平成20年度の状況		説明	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 事業を縮小している
目標値	結果指標量 8		結果指標量 22
	成果指標量	25.00	

総合評価		評価区分<A~E>	
地域の安全は、地域で守るとの意識の高揚が安全安心まちづくりには大切であり、市が率先して啓発活動・防犯パトロールを実施することにより、より一層の意識の高揚を図り、犯罪抑止に努める。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果